

景況調査

(平成29年4月～平成29年6月期) 込である。

平成29年4月～6月期の守山企業景況調査の結果は、次の通りである。調査結果はDI指数(景気動向指数)を用いて示している。

平成29年4月～6月期の調査結果では、売上高、業況、採算の主要3指標で前回調査より数値が上昇し、資金繰りは低下した。

〈業況〉

業況DIは▲9.7で前回調査の▲23.3から13.6ポイント上昇した。業種別では、小売業▲16.7(前回調査比+6.8)、製造業0.0(前回調査比+22.2)、建設業18.2(前回調査比+36.4)、サービス業▲17.6(前回調査比+5.9)、卸売業▲40.0(前回調査比▲6.7)と小売業、製造業、建設業、サービス業が上昇した。
7月～9月期見通しは全体で▲22.6であり、低下の見

〈売上高〉

売上高DIは▲4.8で前回調査より13.5ポイント上昇した。業種別では、小売業▲16.7(前回調査比+6.8)、製造業25.0(前回調査比+25.0)、建設業0.0(前回調査比+9.1)、サービス業▲5.9(前回調査比+23.5)、卸売業▲40.0(前回調査比▲23.3)であり、卸売業だけが低下した。
7月～9月期見通しは全体で▲6.5となっており、低下の見込である。

〈採算(経常利益)〉

採算(経常利益)DIは▲12.9で前回調査より13.8ポイント上昇した。業種別では、小売業▲16.7(前回調査比+12.7)、製造業▲8.3(前回調査比+2.8)、建設業▲9.1(前回調査比+18.2)、サービス

〈資金繰り〉

資金繰りDIは▲34で前回調査から34ポイント低下した。業種別では小売業▲11.1(前回調査比▲5.2)、製造業9.1(前回調査比+21.6)、建設業9.1(前回調査比+9.1)、サービス業▲15.4(前回調査比▲23.1)、卸売業0.0(前回調査比▲16.7)であった。
7月～9月期見通しは全体で▲10.9であり、今回調査実績から低下している。

〈その他の意見〉

- ・ 格差が広がる偏った成長性に問題も感じる。
- ・ 規制のない経済はいずれ破綻する。

